

熊本市障がい者活躍推進計画実施状況			
機関名	熊本市役所		
任命権者	熊本市長		
評価年度	令和4年度		
目標に対する達成度	項目	目標	実績（達成度）
	障害者雇用率	各年6月1日現在の実雇用率を法定雇用率以上とする。 令和4年度(2022年度)国、地方公共団体等の障害者の法定雇用率2.6% 障害者の雇用の促進等に関する法律第三十八条 一般事業者の雇用率、令和4年度(2022年度) 2.3%を下回らない率であり、対象障害者である職員の数に政令で定めるもの(2.6%)を乗じて得た数以上（法定雇用障害者数達成のため必要採用数0）となるようにする。	令和4年(2022年)年6月1日 実雇用率2.67%であり、法定雇用障害者数達成し必要採用数0である。
	各年度内に採用した職員の職場定着率	令和4年度（2022年度）100%	令和4年度(2022年度) 退職者2名(退職理由：病気療養2名) 定着率75%
取組内容の実施状況	<p>1.職員の採用 令和4年度(2022年度) 障がい者を対象とした正規職員を8名採用した。</p> <p>2.相談体制等の整備 (1)人事課配置の保健師1名が、障がい者を対象として採用した新規の正規職員を基本に、障がい者本人と上司を対象とした職場訪問、面談等を実施した。 (2)人事課、人材育成センター、労務厚生課とで実務者の障がい者支援チームを設置し、支援体制を強化した。 (3)人材育成センターによる障がいのある職員を配置している所属の所属長、指導員を対象とした「障がいのある職員への対応研修」を実施した。 (4)聴覚障がいのある職員の環境整備の一環として令和5年3月から電話リレーサービスを導入した。 (5)新たに2名が障害者職業生活相談員研修を受講した。</p>		
「目標に達する達成度」及び「取組内容の実施状況」に対する点検結果	<p>1.目標の達成度について 令和4年度(2022年度)の実雇用率は、法定雇用率2.6%を上回る2.67%であった。 定着率については、新規採用者8名のうち2名が病気療養を理由に退職したため定着率は75%となっており、今後も相談支援体制の強化を図る必要がある。</p> <p>2.取組内容、実施状況について 目標を達成するため、第2期の障がい者活躍推進計画(※1)に沿って相談支援体制の強化を図り、障がいのある職員の障がい特性を踏まえつつ、職員が互いに協力し、誰もが働きやすい職場づくりを進めていく。継続取組に追加して次のとおり取り組む。 (1)人事課に配置する保健師を1名増員し体制強化 (2)ジョブコーチの配置等について検討 (3)障がい者支援チームと新たな関係課（障がい保健福祉課・人権政策課等）との連携強化 (4)キャリアカード等を活用した所属長の面談、必要に応じて、部、局内で適正配置等について検討 (5)環境整備（音声文字化システム導入など）</p>		
計画の見直し・修正	(※1) 令和2年度に策定した障がい者活躍推進計画が終期となるため、令和5年度から5年間取り組む第2期計画を策定した。		